

第19回「多チャンネル放送市場・事業者予測調査」結果発表 市場に対してより厳しい見方をする事業者が増加

多チャンネル放送研究所（所長：音 好宏）では、第 19 回目となる「多チャンネル放送市場・事業者予測調査」を実施しました。本調査は、同研究所が（一社）衛星放送協会の正会員社の各チャンネルを対象に、多チャンネル放送市場の現状と見通しについて年 2 回実施しているものです。

本調査では、『現状』、『1 年後』、『2 年後』という 3 つの時点について、会員各社が多チャンネル放送市場の動向をどのように捉えているかを調べるものです。調査時点が 2016 年 11 月で、『1 年後』は 2017 年後半、『2 年後』は 2018 年後半になります。

今回の調査では、前回（2016 年 6 月調査）の結果に比べると、今後の先行きに対して、加入者、収入ともに楽観的な見方をする事業者が減少し、より厳しい見方をする事業者が増えている傾向が明らかになりました。

このような傾向の背景には、特に、16 年後半には衛星系プラットフォームで加入者の伸び悩み傾向が明らかになったことなどが大きなものとしてあげられるかもしれません。

2017 年 1 月には、総務省から衛星の 4K／8K 放送の認定が行われるなど、新しい展開もあり、今後の動向に注目が集まります。

多チャンネル放送研究所では、今後も定期的に本調査を実施する予定です。これらが会員各社における多チャンネル放送市場の経営戦略に資することが出来れば幸いです。

なお、調査結果については当研究所ホームページでも掲載しているので参照下さい。

→ <http://www.eiseihoso.org/labo/release.html>

調査結果の概要

1. 自社チャンネルの加入者動向については停滞感が色濃く現れる結果に

自社チャンネルの全体的な加入者動向としては、『現状』では「横ばい」(43.2%) が最も多く、続いて「減少」(36.4%)「増加」(17.0%) の順となっている。『1年後』についても、「横ばい」(44.3%)、「減少」(37.5%)、「増加」(15.9%)、『2年後』も同じく「横ばい」(45.5%)、「減少」(35.2%)、「増加」(14.8%) の順となった。

『現状』『1年後』『2年後』いずれも「横ばい」～「減少」が8割前後を占め、さらに『2年後』には「大幅減」が3.4%と数字としては小さいもののやや拡大している。一方で、「増加」は年を追う毎に17.0%→15.9%→14.8%と縮小傾向にあり、停滞感が色濃く現れる結果となっている。

2. 加入者動向の推移では、より厳しい見方がさらに広がりつつある

前回調査(2016年5月)と比較して、『現状』においては、「減少」にほとんど変化が見られなかった一方、「横ばい」が2.9ポイント拡大、その分「大幅増」「増加」を合わせた「増加傾向」が3.3ポイントの縮小となった。『1年後』は「増加」「減少」いずれもわずかに縮小し、その分「横ばい」が44.9%から51.1%と拡大している。『2年後』については、「横ばい」との見方がやや拡大する一方で、「増加」が前回11.2%から今回4.5%と6.7ポイントの縮小となっている。前回調査時に垣間見えた「増加」への期待は、残念ながら今回調査では影を潜め、より厳しい見方がさらに広がりつつあるように見受けられる。

3. 視聴料収入に対しては未来も横ばいの気配

視聴料に関して、『現状』は、「大幅増」が前回(16年5月調査)の3.4%から1.1%へと減少した。「増加」も前回の29.2%から23.9%となり、「増加傾向」は合計25.0%と前回の32.6%から大きく減る結果となった。「横ばい」は39.8%で前回の34.8%から増加、「減少傾向」も合計35.3%で前回の32.6%より増加した。前回より減少寄りの結果となっている。

『1年後』の予測では、「大幅増」が1.1%、「増加」が14.8%となり、「増加傾向」の合計は15.9%と『現状』の23.9%から大きく下げる結果となっている。一方で「減少傾向」の合計は35.2%で『現状』とほぼ変わらず、「横ばい」との予測が48.9%と大半を占めた。

『2年後』の予測については、「増加傾向」が14.7%、「横ばい」が47.7%、「減少傾向」が37.5%と、『1年後』と大差ない未来予測となっている。

4. 今後の広告収入の将来に関しては、前向きな見方が盛り返す

『現状』については、「横ばい」と回答した事業者が半数の50%と直近4回調査で最も高い結果となった。一方、「大幅増」「増加」合計は17.0%と直近4回調査で最も低い。「大幅減」「減少」合計は12.5%と前回より3.5ポイントと増えているものの、これは前回が前々回より9.9ポイント減と大幅に下がった反動とみられ、直近4回調査の中では低い数字となっている。

『1年後』『2年後』については、「横ばい」がそれぞれ9.6ポイント、7.3ポイントと減少している。

「大幅増」「増加」の合計は、『1年後』20.4%、『2年後』15.9%と前回より増えている一方、「大幅減」「減少」の合計は、『1年後』11.4%、『2年後』12.5%といずれも前回とほぼ変化はなく、将来に関しては、前向きな見方が盛り返した結果となった。

5. 「その他事業収入」は「減少する」という見方が増えた

『現状』『1年後』『2年後』のいずれにおいても、「大幅増」「増加」の合計は、それぞれ21.6%、26.1%、28.4%、「横ばい」は、それぞれ45.5%、39.8%、37.5%と2015年5月以降で最も低い結果となった。

一方で「減少」は、『現状』6.8%、『1年後』8.0%、『2年後』8.0%といずれも前回調査から増加しており、今後の見通しについては、減少するという見方が増えた結果となった。

なお、「該当事業無」と回答した事業者が前回より10.4ポイントと大幅に増加していることについても留意されたい。

調 査 の 概 要 に つ い て

1. 調査時期 2016年11月
2. 調査対象 衛星放送協会正会員社の有料チャンネル（89チャンネル）
3. 調査方法 webによる回答・回収法
4. 回答回収数 89チャンネル
5. 回答回収率 100%

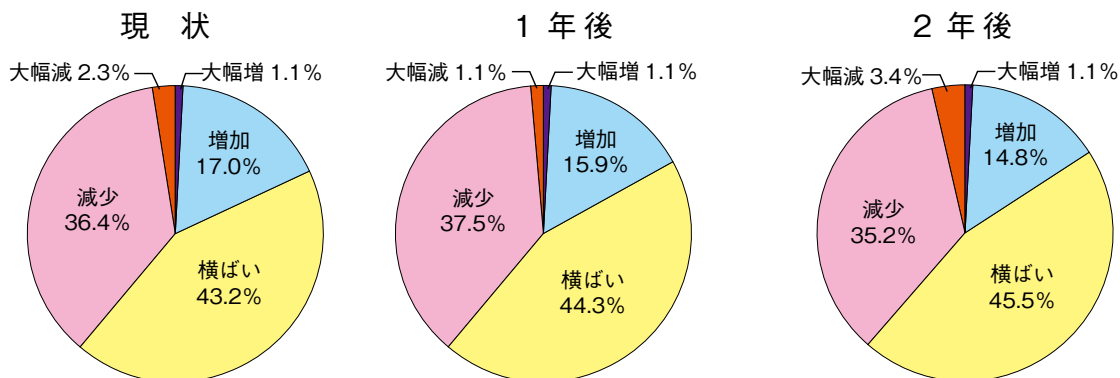
資 料

調 査 結 果 詳 細

1. 自社チャンネルの加入者動向予測

自社チャンネルの全体的な加入者動向としては、『現状』では「横ばい」(43.2%)が最も多く、続いて「減少」(36.4%)「増加」(17.0%)の順となっている。『1年後』についても、「横ばい」(44.3%)、「減少」(37.5%)、「増加」(15.9%)、『2年後』も同じく「横ばい」(45.5%)、「減少」(35.2%)、「増加」(14.8%)の順となった。

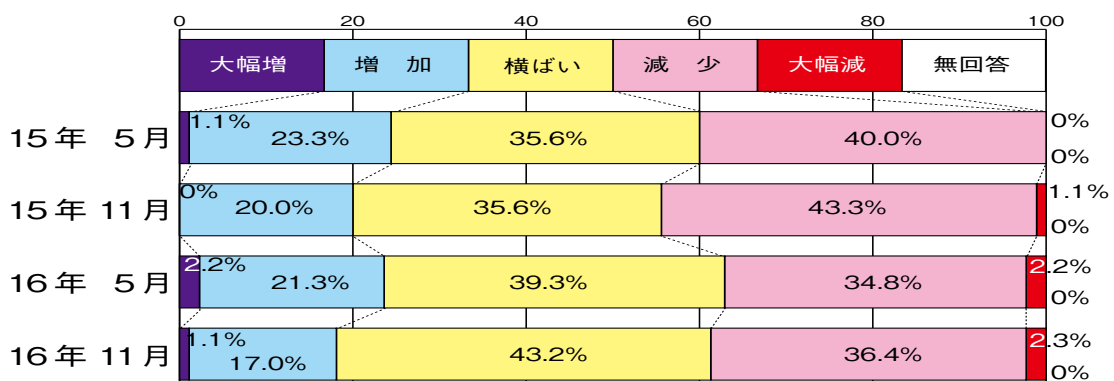
『現状』『1年後』『2年後』いずれも「横ばい」～「減少」が8割前後を占め、さらに『2年後』には「大幅減」が3.4%と数字としては小さいもののやや拡大している。一方で、「増加」は年を追う毎に17.0%→15.9%→14.8%と縮小傾向にあり、停滞感が色濃く現れる結果となっている。



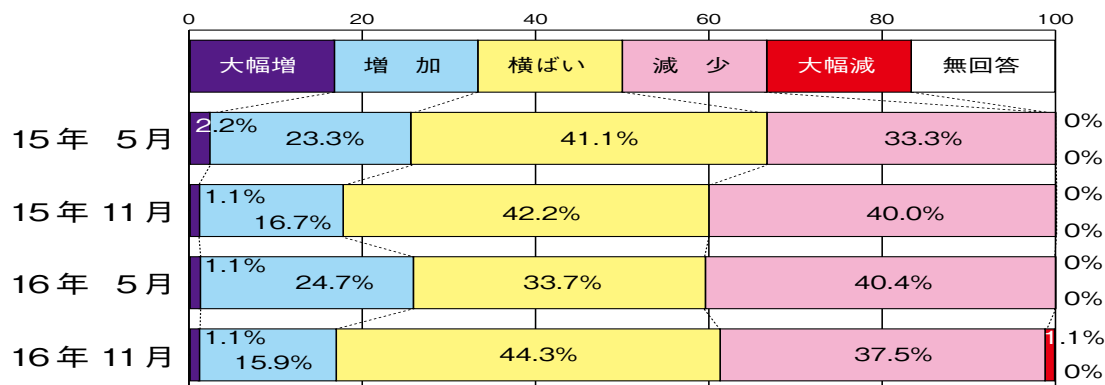
2. 自社チャンネルの加入者動向予測推移

前回調査(2016年5月)では全体的に「増加」が拡大、「横ばい」が縮小し、やや上向きの見通しとなっていたが、今回調査では「横ばい」が再び拡大、「増加」が縮小しており、ほぼ前々回(2015年11月)並みの結果となった。「減少」についてはほぼ前回同様の結果ながら、「大幅減」が『1年後』で1.1ポイント、『2年後』で2.3ポイントの拡大となっている。

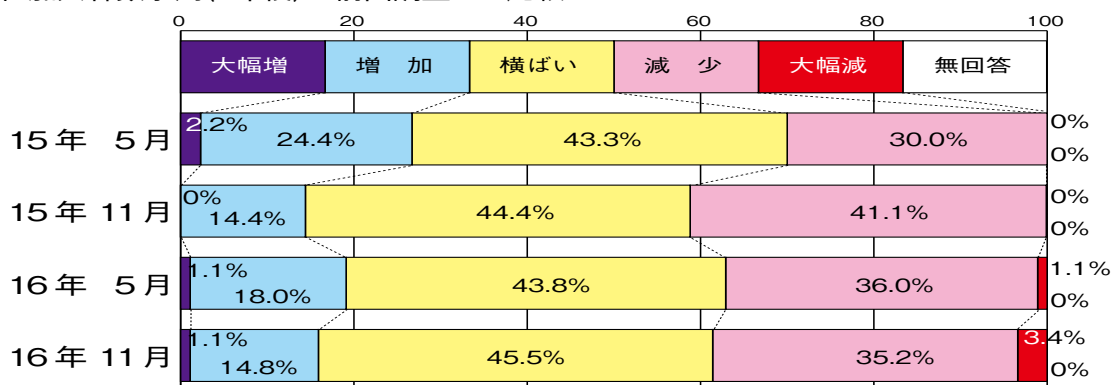
自社加入者数予測(現状)―前回調査との比較



自社加入者数予測(1年後)―前回調査との比較

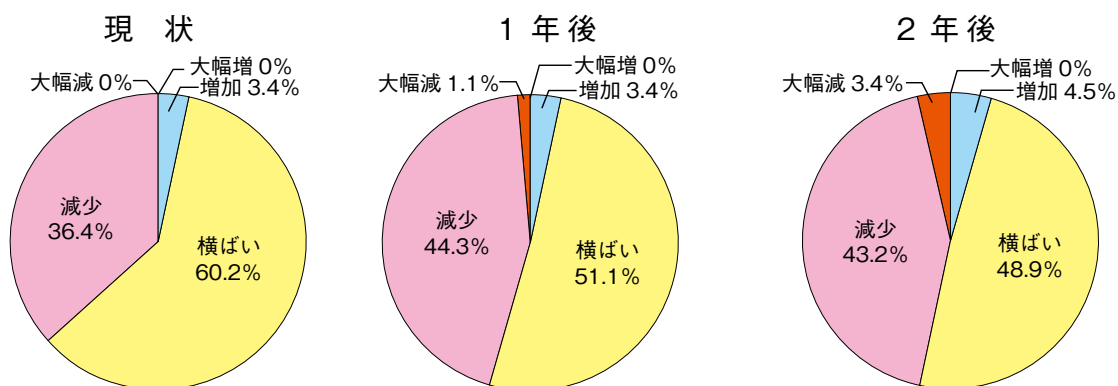


自社加入者数予測(2年後)―前回調査との比較



3. 多チャンネル放送全体の加入者動向

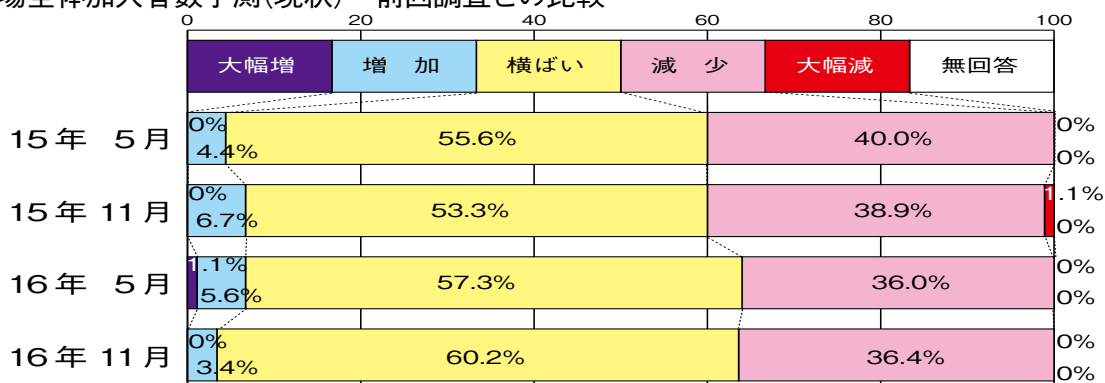
『現状』『1年後』『2年後』いずれの回答も「横ばい」が最も多く、それぞれ60.2%、51.1%、48.9%となった。次いで多いのは「減少」で、それぞれ36.4%、44.3%、43.2%、さらに「増加」については、いずれも5%に満たない結果となっており、現状維持もしくは減少していくとの見方が大半を占める結果となった。



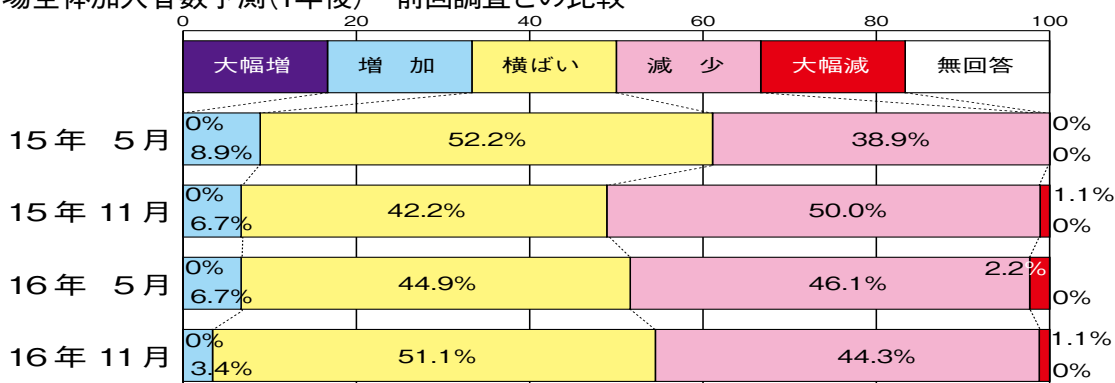
4. 多チャンネル放送全体についての予測推移

前回調査（2016年5月）と比較して、『現状』においては、「減少」にほとんど変化が見られなかった一方、「横ばい」が2.9ポイント拡大、その分「大幅増」「増加」を合わせた「増加傾向」が3.3ポイントの縮小となった。『1年後』は「増加」「減少」いずれもわずかに縮小し、その分「横ばい」が44.9%から51.1%と拡大している。『2年後』については、「横ばい」との見方がやや拡大する一方で、「増加」が前回11.2%から今回4.5%と6.7ポイントの縮小となっている。前回調査時に垣間見えた「増加」への期待は、残念ながら今回調査では影を潜め、より厳しい見方がさらに広がりつつあるように見受けられる。

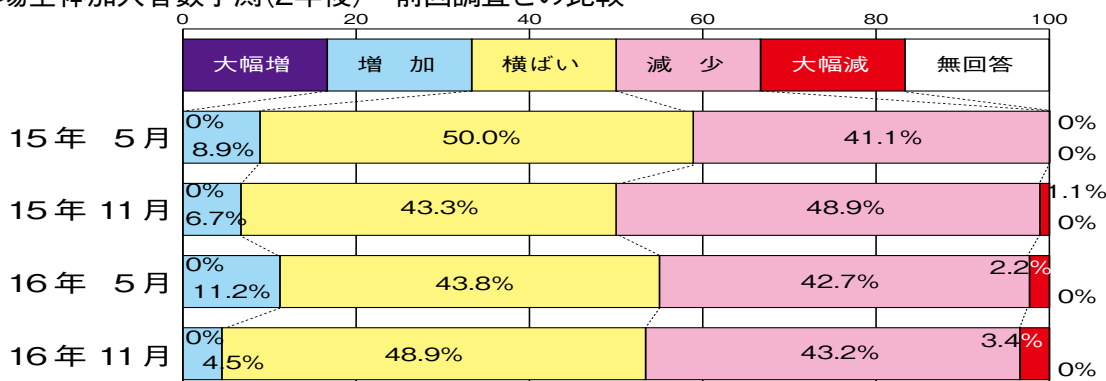
市場全体加入者数予測(現状)―前回調査との比較



市場全体加入者数予測(1年後)―前回調査との比較

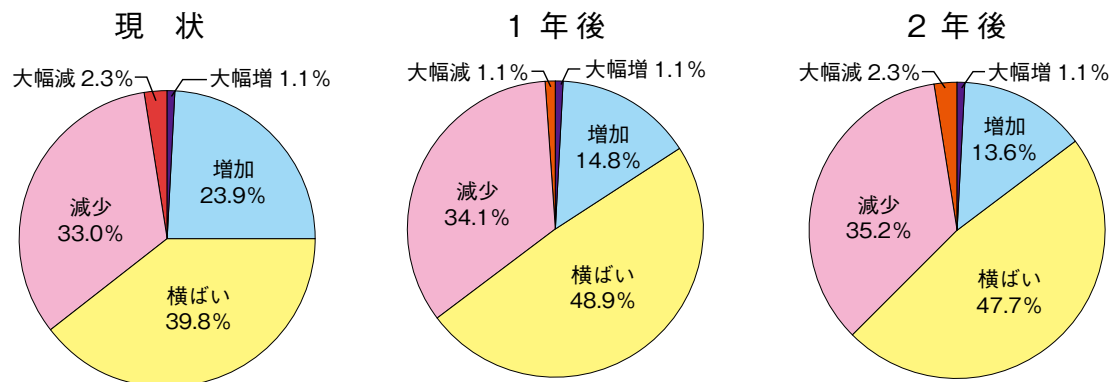


市場全体加入者数予測(2年後)―前回調査との比較



5. 視聴料収入予測

視聴料に関して、『現状』は、「大幅増」が前回（16年5月調査）の3.4%から1.1%へと減少した。「増加」も前回の29.2%から23.9%となり、「増加傾向」は合計25.0%と前回の32.6%から大きく減る結果となった。「横ばい」は39.8%で前回の34.8%から増加、「減少傾向」も合計35.3%で前回の32.6%より増加した。前回より減少寄りの結果となっている。『1年後』の予測では、「大幅増」が1.1%、「増加」が14.8%となり、「増加傾向」の合計は15.9%と『現状』の23.9%から大きく下げる結果となっている。一方で「減少傾向」の合計は35.2%で『現状』とほぼ変わらず、「横ばい」との予測が48.9%と大半を占めた。『2年後』の予測については、「増加傾向」が14.7%、「横ばい」が47.7%、「減少傾向」が37.5%と、『1年後』と大差ない未来予測となっている。



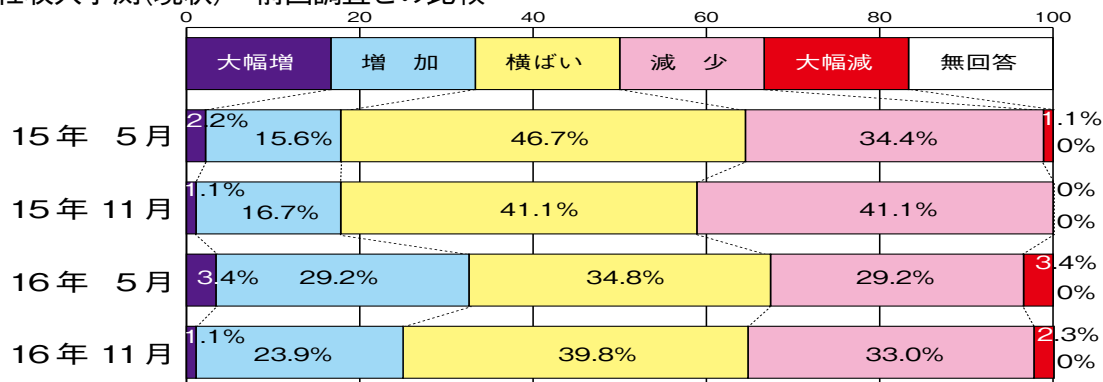
6. 自社チャンネル視聴料予測の推移

『現状』について、前々回（15年11月調査）・前回（16年5月調査）と比較すると、「増加傾向」と答えた事業者は前回から大きく減ったものの前々回よりは高い水準にある（17.8%→32.6%→25.0%）。一方で「減少傾向」との回答は、前々回から前回で減ったが、今回は微増となった（41.1%→32.6%→35.3%）。

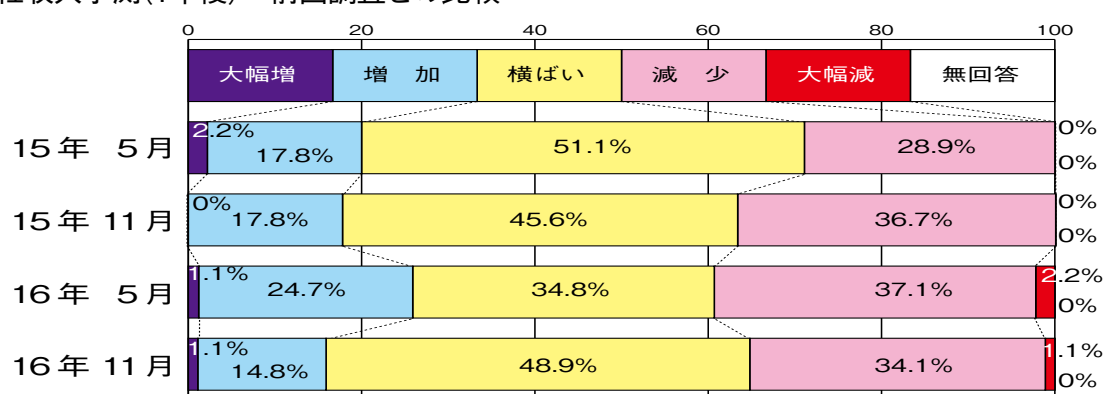
『1年後』の予測では、「増加傾向」という回答は前々回、前回よりも低い水準にあり（17.8%→25.8%→15.9%）、一方で「減少傾向」との回答も、前々回、前回よりこちらも低く（36.7%→39.3%→35.2%）、「横ばい」に寄る傾向となった。

さらに『2年後』については、「増加傾向」（18.9%→19.1%→14.7%）は数字が低下し、「減少傾向」は増加（35.6%→34.8%→37.5%）という結果となった。

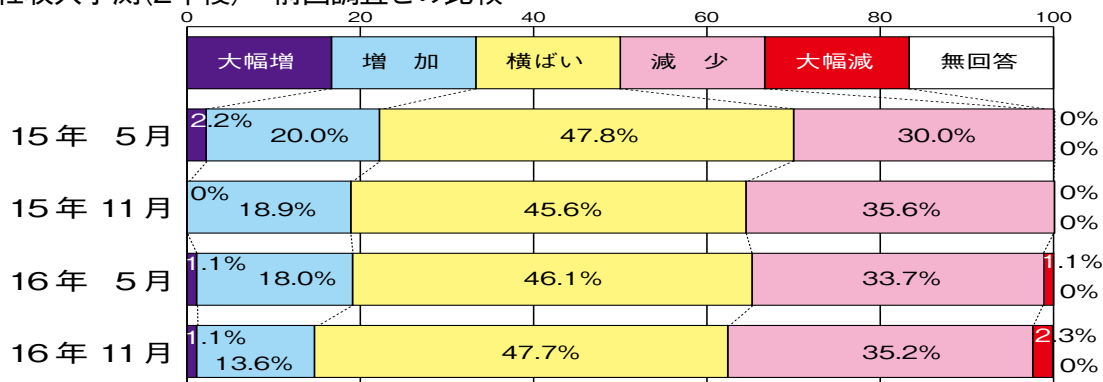
自社収入予測(現状)―前回調査との比較



自社収入予測(1年後)―前回調査との比較



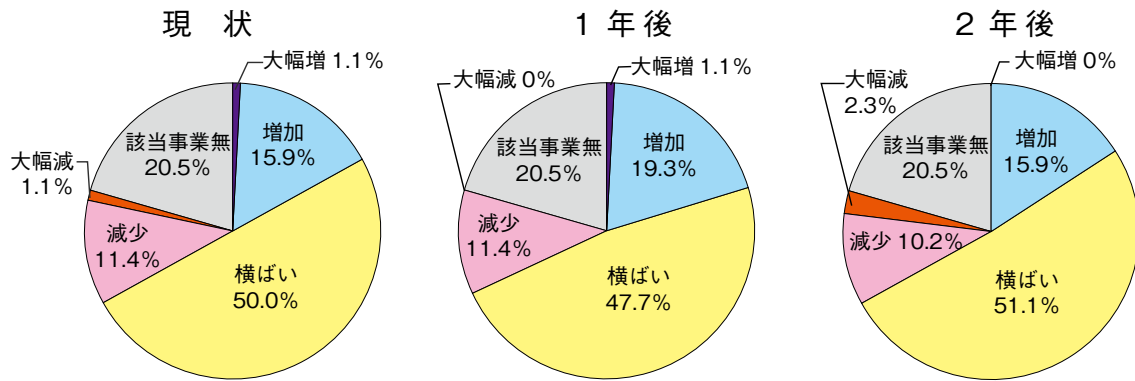
自社収入予測(2年後)―前回調査との比較



7. 広告収入の動向

『現状』では「横ばい」が50.0%と最も多く、次いで「増加」15.9%、「減少」11.4%と続く。「増加」と回答した事業者は、『1年後』に19.3%と増えるものの、『2年後』には15.9%と『現状』の数字に戻っている。「減少」は、『現状』11.4%、『1年後』11.4%、『2年後』10.2%、「横ばい」も『現状』50.0%、『1年後』47.7%、『2年後』51.1%と大きな変化は見られない。「大幅減」が『2年後』に2.3%と増加しているものの、全体としては、今後の広告収入は現状維持とみる事業者が多い。

なお、「該当事業無」と回答した広告未実施の事業者が20.5%存在していることについても留意されたい。

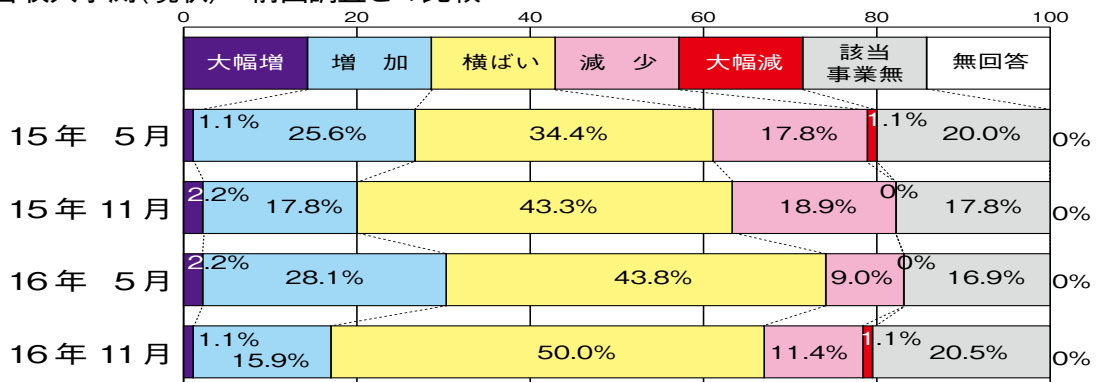


8. 広告収入予測の推移

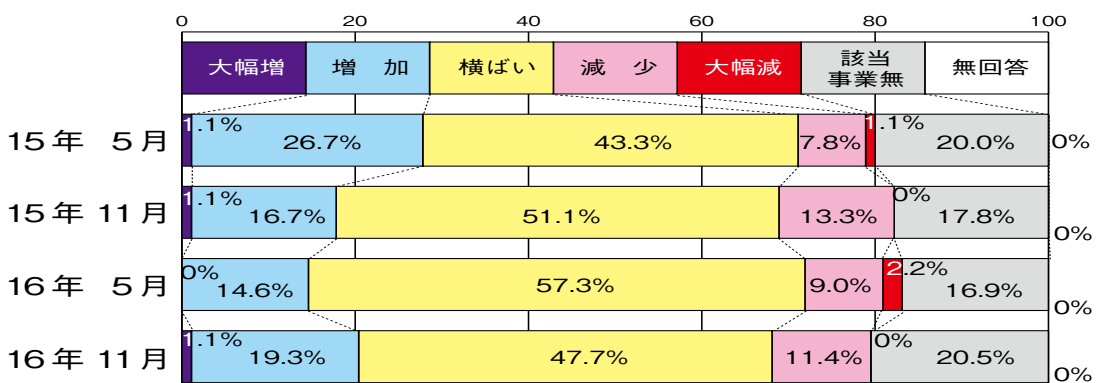
『現状』については、「横ばい」と回答した事業者が半数の50%と直近4回調査で最も高い結果となった。一方、「大幅増」「増加」合計は17.0%と直近4回調査で最も低い。「大幅減」「減少」合計は12.5%と前回より3.5ポイントと増えているものの、これは前回は前々回より9.9ポイント減と大幅に下がった反動とみられ、直近4回調査の中では低い数字となっている。

『1年後』『2年後』については、「横ばい」がそれぞれ9.6ポイント、7.3ポイントと減少している。「大幅増」「増加」の合計は、『1年後』20.4%、『2年後』15.9%と前回より増えている一方、「大幅減」「減少」の合計は、『1年後』11.4%、『2年後』12.5%といずれも前回とほぼ変化はなく、将来に関しては、前向きな見方が盛り返した結果となった。

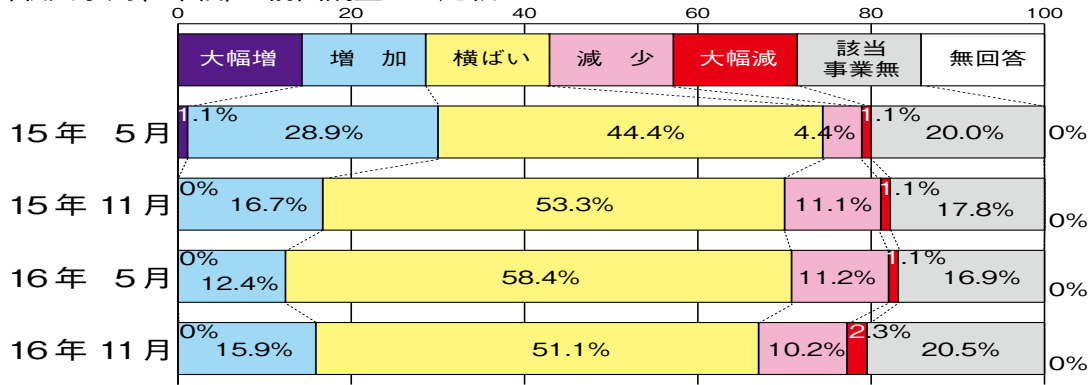
広告収入予測(現状)―前回調査との比較



広告収入予測(1年後)―前回調査との比較



広告収入予測(2年後)ー前回調査との比較

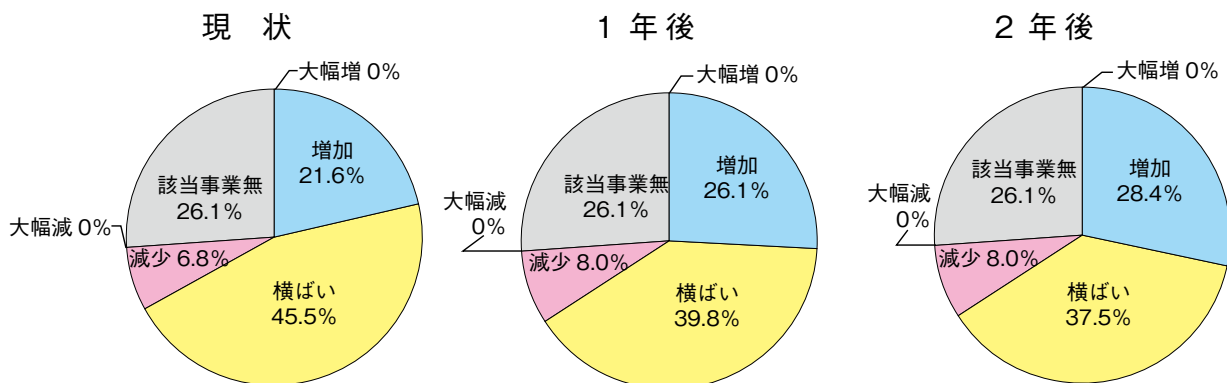


9. その他事業収入予測

『現状』では「横ばい」が45.5%と最も多く、次いで「増加」が21.6%、「減少」が6.8%となっており、「増加」「横ばい」の合計は67.1%となった。

『1年後』『2年後』の予測でも、「増加」「横ばい」の合計はいずれも65.9%と大きな変化は見られない。

なお、「該当事業無」と回答した事業者が26.1%存在していることについても留意されたい。



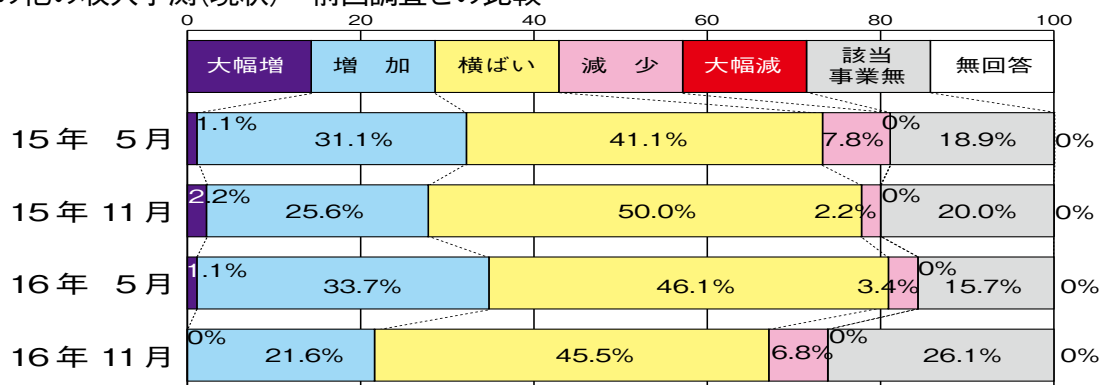
10. その他事業収入予測の推移

『現状』『1年後』『2年後』のいずれにおいても、「大幅増」「増加」の合計は、それぞれ21.6%、26.1%、28.4%、「横ばい」は、それぞれ45.5%、39.8%、37.5%と2015年5月以降で最も低い結果となった。

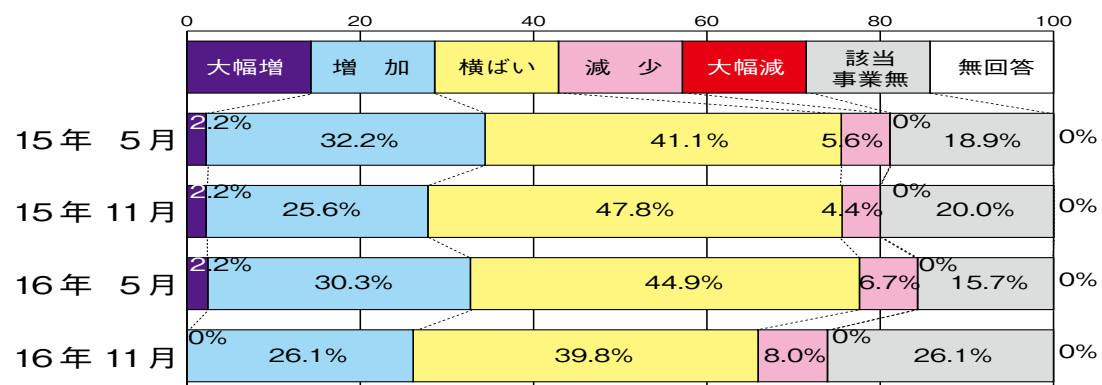
一方で「減少」は、『現状』6.8%、『1年後』8.0%、『2年後』8.0%といずれも前回調査から増加しており、今後の見通しについては、減少するという見方が増えた結果となった。

なお、「該当事業無」と回答した事業者が前回より10.4ポイントと大幅に増加していることについても留意されたい。

その他の収入予測(現状)―前回調査との比較



その他の収入予測(1年後)―前回調査との比較



その他の収入予測(2年後)―前回調査との比較

